

令和 7 年 第 5 回米原市定例教育委員会

日 時：令和 7 年 5 月 21 日（水） 午後 3 時 30 分開会
場 所：米原市役所 コンベンションホール

（出席者）

教 育 長：一ノ宮教育長
教 育 委 員：上橋委員、本庄委員、膽吹委員、法戸委員、井口委員
教 育 部：口分田部長、高木理事
教 育 総 務 課：馬場課長
学 校 教 育 課：北川課長
生 涯 学 習 課：平山課長
図 書 館：梶川館長
ス ポ ー ツ 推 進 課：横田課長
学 校 給 食 課：花部課長
書 記：吉川課長補佐、辻村

1 開 会

2 教育長挨拶

皆さんこんにちは。暑い日が急に多くなってきて、暑さに慣れない中で熱中症が心配されるなどと思っています。暑さに慣れるということが大事で、暑熱順化といいますが、適度に運動したり、入浴したりすることによって汗をかいて慣れるということが大事だと言われてしますので、そういうことも心がけてほしいと思っています。前回の教育委員会開催から後の動きについて説明させていただきます。

まず、4 月 24 日、25 日に近畿都市教育長協議会定期総会と研修会が米原市を会場に開催されました。エキシブ琵琶湖で開催され、近畿の都市教育長と随行も含めて、100 人を超える方々に御参加いただきました。また、90 人ほどエキシブ琵琶湖に御宿泊いただきました。御存知のとおりエキシブはファミリーが泊まるようなリゾートホテルですので、そこにおひとりということで、非常に広い部屋にお泊りいただき、贅沢な時間を過ごせましたというお話をいただきました。2 日目には、徳源院とローザンベリーに視察に行ってきました。60 人ぐらいで、バス 2 台に分乗する形でした。一昨日、徳源院の幽霊の掛け軸が盗まれたのですが、住職が気づいてすぐに追いかけて取り押さえたというニュースがありました。まさに視察に行ったときに住職からこれが幽霊の掛け軸だという説明を受けて、立体的に出てきそうな掛け軸でしたが、それが盗まれそうになったということを聞いて、びっくりしていたところです。また、1 日目の懇親会のアトラク

ションでは、伊吹高校の箏曲部に琴の演奏をしてもらいました。5人ほどの生徒と指導の先生に来ていただき、懇親会の参加者も非常に喜んでおられましたし、伊吹高校の箏曲部にもこういう発表の場があったということで、とても喜んでもらって、良い機会になったと思っています。

5月1日には市長の公約や政策課題について各部局と三役が協議する会議がありました。やはりどの部局でも人口の減少あるいは少子高齢化にどう対応していくかということは大きな課題として挙がっていました。教育部としても、学校や給食センターを今後どうしていくかということは大きな課題であると思っています。今後のことでは、体育館への空調設備の設置、給食費の問題、学力やICTの活用など市長と協議をしたところ です。今後、さらに協議を進めて来年度以降の施策として、どう反映させていくか、そのスピード感についても協議していくことになると思っています。

5月13日には、滋賀県の教育長と教育部次長が大東中学校に訪問されました。学校の現場を視察したいということで、英語の授業や学校司書を配置している学校図書館の状況も御視察をされて、学校司書から状況について聞き取ったりされていました。その後、給食を一緒に食べながら、今の学校の課題や人材育成について協議させてもらいました。

5月15日、16日には、全国都市教育長協議会の定期総会が埼玉県川越市でありました。私も参加させてもらったのですが、全国に805都市あって、そのうち600人ほどの教育長が来られて、文部科学省の講話や教育行財政、学校教育、生涯学習の分野別の研究発表会を拝聴しました。ここでも人口減少、少子化対策、それに関わっての学校施設の整備、地域とともにある学校作り、教育のDX化、それから不登校対応ということが話題に挙がっていました。どこの市でもよく似た課題を抱えていて、その対策に頭を痛めつつ、地域資源の活用などの工夫をされている姿を見てきました。本市でも活用できる ところを話していきたいと思っています。

18日には国スポのデモンストレーションスポーツであるユニホックが伊吹地区ふれあいスポーツフェスティバルとともに開催されました。天候が心配されましたが、無事に晴れて多くの方に参加していただき、国スポの開催に向けて機運醸成にもなったと思っています。

また、19日から本年度の第1回の人事訪問が始まりました。昨日までに6校の訪問を終えたところです。今回の訪問は異動者の定着状況を中心に確認しています。訪問した6校とも、学校の体制、児童生徒の状況ともに大きな課題もなく、落ち着いた雰囲気 で学校の学習活動が進められているようでした。しかし、主体的・対話的で深い学びの姿はどうかという部分では、やはり授業改善がまだ十分ではないということも感じました。そこについては校長とも話をしたところですが、教育委員の皆様にも2学期には各学校を回っていただきますので、そのときに各学校の状況について見ていただければと思っています。

以上、最初の挨拶とします。

令和7年第4回定例会議事録

4 所属長報告

(1) 教育総務課長

報告事項につきましては、先ほど教育長からのお話もありましたとおり4月24日、25日に近畿都市教育長協議会定期総会をエキシブ琵琶湖で行いました。近畿2府4県の政令市を除く全107市のうち97市の教育長がお見えになられ、随行者も含めて110人の参加がありました。5月14日に民生教育常任委員会協議会が開催され、令和8年度の給付型奨学金について御説明させていただきました。5月19日に契約審査会が行われ、柏原小学校防災機能強化工事ほか4件の審議を行っていただきました。

今後の予定につきましては、5月22日に草津市で令和7年度滋賀県都市教育委員会連絡協議会定期総会が開催されます。こちらには教育長と教育委員の皆様に出席をお願いしています。5月22日に坂田小学校家具購入の入札があります。6月2日の契約審査会に米原中学校自転車庫増築工事ほか1件の審議をお願いする予定ですが、米原中学校自転車庫増築工事につきましては、設計と現地に齟齬が見られますので、現在、設計の見直しを行っているところです。進捗次第では契約審査会に諮るのを先送りすることもあるかと思います。6月25日に次回の定例教育委員会を予定しています。市議会ですが、第2回の6月定例会が6月5日から6月26日の会期で開催される予定となっています。

(2) 学校教育課長

報告事項につきましては、5月15日、16日と中学校の春季総体が県内で行われました。特に事故等の報告は入っていません。教育長の話にもありましたが、5月19日から人事訪問が始まり、現在6校を終えているところです。

今後の予定につきましては、人事訪問が続きますし、5月28日には米原市いじめ問題対策連絡協議会といいまして、市長が中心となっていじめ対策を協議する会議が行われますので、次回の教育委員会で内容を報告できると思っています。また、中学校の体育大会が始まる季節になっています。熱中症の話もありますし、最近、雷の事故の話もあり、校長の判断というものが問われ、なかなか難しいです。今日も雷の天気予報が出ていましたが、こういったときに子どもたちを撤収させるのか継続させるのか、迷ったら撤収というところが基本になってくるかと思いますが、そのような危機感の共有を校長会で行っているところです。

そして、いじめについて、2件報告させていただきます。1件目につきましては、学校でも気付かなかった、そして、子どもが保護者に訴えていたけど捉えが甘かったという事案です。学校が気付いていた、保護者の捉えがもう少し敏感であったり、保護者と学校との連携がもう少しできたりしていれば、もう少し早く気付けたのではないかといった反省点があるということで報告させていただいています。2件目につきましては、現在の子どもたちに貸与している1人1台のタブレット端末に見守りフ

フィルターという、子どもたちが自殺であったり、家出だったりを想定されるようなワードを検索した場合に学校教育課のメールに報告が入るというシステムが入っています。これはそのシステムによって発覚した事案です。死にたいという言葉がこの子どもが検索しているということが我々の方で分かりましたので、学校に報告して状況を確認してもらったところ、そのような思いを持っている子がいて、スクールカウンセラーに繋いで対応しています。この見守りフィルターにつきましては、空振りもいっぱいありまして、歌詞で死という言葉を使う歌もあったり、何かのドラマで出てきたということで調べたりする度に連絡が来るのですが、これも先ほどの雷と一緒に空振り OK ということで、とにかくリスクがあるものは全て学校に連絡をして、学校で確認をしており、年間3つ4つは連絡してよかったということがあります。

教育センターの報告事項につきましては、米原市初任者研修の第1回を6月3日に山東小学校と山室湿原で行います。山東小学校の地域の自然について米原市に赴任した教職員に学んでもらおうということで計画しています。5月26日から30日に、小学校4年生を対象に学力状況調査を実施する予定です。5月19日から小学校3年生を対象にした学びっ子を各小学校にて順次開始しています。6月16日に教頭研修会を兼ねて、教職員の不祥事防止研修会を行います。これは昨年度の市内小学校の不祥事を受けて、教職員が自分自身のメンタルヘルスについて学ぶ機会ということで計画をしています。これは録画したものを後日オンデマンド方式で配信できるようにして各学校全職員に見ていただけるように手配する予定をしています。前回、教育支援センター事業について説明させていただきましたが、なかなか口頭の説明では分かりにくかったので、資料を用意させていただきました。今までからも教育支援センターというものがあり、そこでは「みのり」という事業と、令和5年度からはステップ・フォワード・プログラムという事業が始まったというような状態でした。しかし、国が教育支援センターというものをしっかり機能強化していくようにというのを言っていますので、米原市の教育支援センターにしっかり所長を置き、その中に従来からあります「みのり」、そしてステップ・フォワード・プログラムを位置づけ、そこに担当の指導主事と不登校いじめ等対応支援員という会計年度任用職員をつけ、所長を含めた3人を中心に子どもたちのニーズや困り感に添えていこうと思っています。ただ、この中で完結することは実はあまりなくて、ここから各関係課や各機関と連携をしていくという要になっていけばいいなと思っています。また、校内教育支援センターというものがあります。簡単に言いますと各学校にある別室になるのですが、そこに人を派遣するという事業を今年度の予算で設けています。それを派遣型ガイドウォーカーといいまして、学校も本当に手薄で常時別室に人を置くということはほぼ不可能ですので、学校のニーズがあれば会計年度任用職員を任用して、そこに支援をしていきたいと考えています。

(3) 生涯学習課長

報告事項につきましては、5月18日に第20回の米原市芸術展覧会の公開審査を行

いました。これは前日に作品を受け付け、今年度初めて公開での審査を開催いたしました。30人ほど見学に来られました。

今後の予定につきましては、6月8日には、国史跡20周年記念として鎌刃城まつりを行います。現地見学と講演という形ですが、特に現地見学については定員40人が申込開始から2日ほどで埋まったということで大変好評な状況です。6月10日にはルッチまちづくり大学を行い、今回は市長と学生との座談会を実施されます。それから、6月7日から14日の期間に第20回米原市芸術展覧会を開催します。この期間中、火曜日が休館日になっていますが、1週間行いますので、ぜひ皆様も御見学していただければと思います。

(4) 図書館長

報告事項につきまして、4月26日から「雑誌のリサイクル」を山東図書館で開催しました。保存期間の過ぎた雑誌を自由にお持ち帰りいただけるイベントで、847冊の雑誌をリサイクルすることができました。

今後の予定につきましては、「バルバルさんお絵かきシート大集合」を利用者の皆さんに山東図書館と近江図書館を飾っていただくイベントとして企画しています。最後に雑誌のスポンサーについて御報告させていただきます。図書館では地元のお店、企業や個人から雑誌の購入費用を御支援いただく雑誌のスポンサー制度に取り組んでおり、4月に訪問させていただいてお願いをしましたところ、多くのスポンサーから引続きの御支援をいただけることになりました。資料は5月5日現在ですが、そこから本日までに少し増えまして、両図書館で41のスポンサーに、63紙の雑誌を御支援いただいています。

(5) スポーツ推進課長

報告事項につきまして、国スポ関連ですが、4月29日に米原市実行委員会の総会と常任委員会を本庁舎において実施させていただきました。教育委員の皆様には出席をいただきましてありがとうございました。4月30日には、米原市内での機運醸成を図ることを目的にホッケー競技広報ポスターのデザインの募集を行っていましたので、優秀作品の表彰式を行いました。5月9日に市内各小学校に選手等を歓迎する応援のぼり旗の協力依頼をさせていただきました。今後、各学校を回って説明させていただく予定です。教育長からお話もありましたが、5月18日に国スポのデモンストレーション競技ということで、ユニホックを伊吹地区ふれあいスポーツフェスティバルと同時開催で実施させていただきました。新聞にも掲載されましたが、80人の参加ということで、国スポに向けた機運醸成が図れたと思います。

今後の予定につきましては、5月30日に、これからさらにホッケーを盛り上げていくということで、市内高校生と連携した取組として、ホッケー盛り上げ隊の結成式を開催する予定です。6月7日、8日にはIBUKI CUP HOCKEY TOURNAMENT2025が開催されます。6月14日には、総合型地域スポーツクラブのカモンスポーツクラブと米原市

の共催ということで、部活動地域移行シンポジウムを開催する予定で、その中で東レアローズとのパートナーシップの協定締結式を行う予定となっています。

(6) 学校給食課長

報告事項につきましては、4月14日から2週間にわたり、小学校1年生を対象に「給食の準備をしよう」と題した食に関する指導を行っています。資料にその成果と児童の感想を掲載していますので、御覧いただきたいと思います。また、4月30日からは小学校2年生、5月19日からは小学校4年生を対象に食育指導に当たっているところです。

今後の予定につきましては、5月27日に9月分の献立検討会を予定しています。6月に小学校3年生を対象に「正しい箸の持ち方を知ろう」、小学校2年生を対象に「朝ごはんを食べよう」と題した食に関する指導を行っていきます。6月9日から11日までの3日間、西部給食センターで米原中学校の職場体験の受入れを予定しているところです。

5 所属長に対する質疑

A委員 : 学校給食課の食に関する指導について、その成果を見せていただいているのですが、栄養教諭が指導してくださっていると思いますが、食べることは生きることですので本当に大切なことだと思います。小学校1年生なりに「好き嫌いしないようにしよう」や「残さないように食べよう」という感想があり、小さい頃からこうした意識を醸成していくというのは本当に大切なことだなと思って見せていただきました。小学校2年生や4年生と書いてありますが、全ての学年で全てのクラスで実施をされているのか。また、どんな時間帯で行っているのか。資料には給食の時間前にと書いてありますが、例えば高学年になったら1時間時間をとって授業をされるのかなど教えていただきたいと思います。

事務局 : 基本的には給食の前の準備段階で行うのですが、高学年になってきますと授業としてさせていただくなど、年間通じた計画のもとに実施しています。また、年度末になりますと、中学校3年生が卒業を控えますので、お弁当を作る実習として学校へ出向いて、給食のメニューに合わせて他に簡単なお弁当のおかずを作って自分の持ってきたお弁当箱に詰めるというような実習もしています。

A委員 : 栄養教諭の人数も存じ上げないのですが、なかなか大変だと思いますが、継続していただきたいと思います。併せて、命をいただくことへの感謝の心も育てていただければと思いますし、毎日心を込めて作っていただいている調理員の皆様に感謝の気持ちを子どもたちから伝えるよ

うな取組もあれば良いなと思いました。

B委員 : 教育支援センター事業についてお尋ねします。みのりは、カリキュラムや時間割が決まっていて、それに合わせて過ごすという形でしょうか。

事務局 : みのりは、子どもたちと相談しながら個別学習計画を立てて、そのスケジュールを中心に学習をしています。ステップ・フォワード・プログラムは、どちらかと言えば自分たちのやりたいことを自分たちで計画を立ててやるということを中心にしています。どう違うのかということはいろいろなところで聞かれるのですが、こういう違いがあると言いながらも、やはり指導員のカラーというのが子どもたちにとっては重要です。まずはその子どもたちを受け入れられる指導員、支援員になろうということで、受け入れてもらえなかったら何もできませんので、とにかく子どもたちを受容していこうと確認させていただいたところです。

B委員 : ステップ・フォワード・プログラムではガイドウォーカーが温かく見守りながらサポートしてくださっていると思うのですが、学習以外では何かのことを何かされているのでしょうか。

事務局 : 卵焼きを作ろうということ子どもたちの発想でやったと聞いていますし、この前の3月には中学校3年生が卒業するということで、3年生を送る会のようなことをしたそうです。そして、ありがたいことに卒業した子がこの間ステップ・フォワード・プログラムに顔を覗かせてくれたこともあったようです。そういった想定をしていなかったことということで、ガイドウォーカーも喜んでいたという報告を聞いています。

B委員 : 校区外から来られている方はいますか。

事務局 : 対象は米原市内ですので、市内に在住であれば、市外の学校や県立・私立の学校であっても受け入れることのできる場所になっていきたいと思っています。

B委員 : 保護者の方が送迎なさっているのでしょうか。

事務局 : 基本はそうなります。遠いところの子は保護者の仕事の都合で何曜日はどうしても行けないですということがあるので、そこはこれからの検討課題かと思っています。

B委員 : 最後に、教室外での活動もありえますか。

事務局 : 日撫山に行ったり、近江図書館に行ったり、社会福祉施設もありますので、その施設利用者の方と一緒に七夕飾りを作ったり、子どもたちとガイドウォーカーがアイデアを出しながら活動してくれています。

B委員 : 学校外でしたらいろいろ調整しながら活動していただきたいと思います。

C委員 : みのりの方も保護者の送迎でしたでしょうか。

事務局 : 一応、みのりは近江長岡駅の前なので自力で行くことも想定はしていますが、基本的には保護者の送迎になっています。電車で来たり自転車で行く場合は指導員と連絡を取りながらというルールはありますが、実際は保護者の送迎ばかりです。

C委員 : 今は保護者も働いておられる方が多いですが、距離があると自分の足で行くのはなかなか難しいですし、そういう中でも子どもたちのために保護者が力を注いでくださるのはすごいことだと思います。子どもたちそれぞれの特質もありますし、それに合わせて対外的な楽しいことを取り入れたりされているのを聞いたことがあります。みのりについても、ステップ・フォワード・プログラムについても、できるだけ入口を別にして自分の力で通ってくださることがあると、ワンステップ上がっているのかなと思っています。各学校に保健室登校されている子どもたちもいるので、不登校になりつつある子が自分の足で来てくれるということを先生は望んでくださっていると思います。各学校で保健室登校のように子どもたちが安心して行ける場というのを取り入れてくださっているのでしょうか。

事務局 : 基本的にみのりに行っている子どもたちもステップ・フォワード・プログラムに来ていた子どもたちも学校の先生の支援方法に合わせて支援をしていますので、指導員が勝手にされるということはありません。また、欠席状況のところに校内教育支援センターというところがありまして、これがいわゆる学校の別室で、別室に登校している子どもたちの数を載せています。小学校も中学校も一定数いますので、この子どもたちの状況を教育支援センター担当の指導主事が学校の状況を聞きながら支援の方法を検討しているところです。子どもによっては学校の別室とステップ・フォワード・プログラムを併用したり、みのりとステップ・フ

ォワード・プログラムをどちらも使ったりという子もいました。それは我々にとっても子どもたちの居場所になれたということで、とても嬉しいことですし、どこかに居場所があることは大事だと思っていますので、そういう居場所を民間も含めて提供していきたいと思っています。

C委員 : いじめの報告ですが、見守りフィルターというのがあって、子どもたちがタブレットを使っている中で、そういう言葉が検索された場合に対応ができるというのはすごくいいことだと思いました。簡単に言葉をかけたことがいじめになっているということが多いと思いますが、その中にすごく真剣な思いを持っている子もいます。私が入権相談をさせてもらっている中でも、誰にも言えなくてお手紙の中にもう死にたいという言葉を書かれていたことがあって、その言葉を真摯に受けとめて対応の仕方を先生と相談させてもらって、お手紙を書かせてもらったことがあります。こういう機会を見逃さず、子どもたちの本当の思いがわかる場があるというのは、とても嬉しいことだと思います。空振りも多いかもしれませんが、その中で子どもたちの心に寄り添っていただくというのは嬉しいことだと感じました。

D委員 : 18日のユニホックにバイクで行って見たのですが、駐車場に入って下のグラウンドを見たら野球をしていたので間違えたかと思ってスマホで調べたら、すぐ上のOSPスタジアムだと分かりました。そちらに行ったら、見えるのはグラウンドゴルフで、受付らしいものはあったので、上まで行って見ようと思ったら、グラウンドが見えないように目隠しのようなものがしてあったので、上の通りをずっと行ったら、やっと見えて安心して、その場からちょっと見させていただきました。10時過ぎだったのですが、子どもたちと一般の部が元気よくやっていて、私もゲームを見たのは初めてでしたので、いいなと思って見ていました。本番の日にはホッケーのコートは何面取れるのですか。

事務局 : OSPホッケースタジアムで1面と伊吹第1グラウンドで1面の合計2面という形になります。

D委員 : わかりました。立川市で保護者が学校にいじめの相談に行っていたら、何か折り合いがつかなくて納得いかずに知人に連絡して、その人たちが2人ほど直接教室に乱入して子どもの名前を呼んだというような情報をニュースでやっていました。想定外だったとニュースでもおっしゃっていて、早速草津市でその想定外に対応する訓練をしたとテレビでやっていました。テレビみたいなことが起きたわけで、そのようなことが実際

にあり得るとは思っていなかったわけですが、知人の大人が子どもの教室に乱入して脅かすということがあったので、それについて米原市でもチェックされたと思いますが、何かちょっと抜けていたという点がありましたら教えていただきたいと思います。

事務局 : 不審者侵入訓練は全ての学校において毎年行っておりまして、今年度も時期は学校によってバラバラですが、警察と連携して行っています。立川市の学校が想定外と言っているポイントとしては、我々の中では附属池田小学校の事件がやはり頭の中でありまして、不審者は1人で訳の分からない人が入ってくるという想定でおそらくどの学校もずっと行ってきたと思いますが、今回は侵入者が2人であったということと、そして関係者であったということで今までの想定だけでは駄目だということが明らかになってきました。ただ、去年、一昨年の不審者侵入訓練の警察の指導の中で、不審者は1人とは限らないという指導もありましたし、あるいは、さすまたの整備はもうできているのですが、さすまただけでは刃物を持った人間には対応できないという警察の指導がありました。そのため、今年度の予算で警察などが持っている透明でそのまま突進していけるような防護盾を各学校に配備できる予算をつけていただいています。学校は立川市の事件の前から警察からそういう指導をいただいていたので、今年度はその防御盾を用いた訓練をやっていく必要があると思っています。それと大人が子どもを守るだけではなく、子どもが自分の命は自分で守るということもこの訓練の非常に大事なところだと思います。立川市の事件のニュースを見ている中で、不審者が入ってこないようにドアの鍵を閉めて教室で静かにしていたり、バリケードを作って教室に入ってこられないようにしたりしていた学級があったということで、これは普段から訓練をやっていなければ絶対にできないと思います。やり方が正しいか間違っているかは別にして、普段の訓練が子どもたちには生きていたと思いますので、教師の訓練であるとともに、子どもの教育であるという視点で不審者侵入訓練を今後も警察と連携していろいろな想定でやっていきたいと思っています。

E委員 : いじめの事案の中で、タブレットの検索ワードを拾うということで、子どもが直接親に言えないということも隠れていると思いますので、こういうのが拾える仕組みというのはすごくありがたいと思いますし、いろいろなことを防ぐ意味で機能しているということが分かるのでありがたいと思います。もう1つ、学校給食課の職場体験で米原中学校の生徒が2人来るとあるのですが、毎年、職場体験には、どこかの中学校から来られるのでしょうか。

事務局：ここ2～3年続いて来ていただいています。希望者がなければ受入れもないですが、このところは希望者があり、東部給食センターでも河南中学校を受入れさせていただくというお話はしています。希望者があれば受入れしていきたいと思っています。

E委員：普段いただいている給食を作る側になるので、生徒もすごく勉強になると思いますので良い職場体験を生徒がしてくれたらと思います。

6 議案審議

報告第2号 公益財団法人伊吹山麓まいばらスポーツ文化振興事業団の決算および事業計画に関する書類の提出について 【スポーツ推進課】

(内容) 公益財団法人伊吹山麓まいばらスポーツ文化振興事業団の令和6年度事業報告および収支決算に関する書類、令和7年度事業計画および収支予算を提出するものです。

— 以下、議案に基づき説明 —

原案承認

議案第19号 令和7年度米原市一般会計補正予算（第2号）について 【各課】

(内容) 令和7年度米原市一般会計補正予算（第2号）のうち教育委員会所掌の補正予算を別紙のとおり令和7年米原市議会第2回定例会に提案することについて教育委員会の意見を求めるものです。提案理由としては、所要の補正予算が必要となったため、歳入予算12,500千円を増額し、歳出予算12,500千円を増額するものです。各課に係る主なものは下記のとおりです。

【教育総務課】 中学校施設維持補修事業として、大東中学校の体育館空調設備設置工事に向けた設計監理委託料を7,500千円の歳出の増額を行うものです。この設計監理委託料の財源となる歳入の増額について、教育施設整備基金繰入金1,900千円の増額、学校教育施設等整備事業債5,600千円の増額を行うものです。

【生涯学習課】 米原曳山祭保存活動支援に係る補助金を5,000千円増額しています。この財源として、曳山祭の事業支援の寄付をいただきましたので、米原ガンバレ！ふるさと応援寄付基金を増額しています。また、財源更正として、地域伝統芸能等保存事業助成金の助成決定を受けましたので、相殺する形で、地域の絆でまちづくり基金繰入金を減額しています。

— 以下、議案に基づき説明 —

A委員 : 体育館に空調が入るということを知らなかったのですが、なかなかできることではないのに手厚く予算を取っていただいて、教育委員会の皆さんが頑張ってくださっているのだと思いますが、それに応えている米原市も素晴らしいと思って見させていただきました。これは大東中学校が最初で、この後、順次中学校全部に入るのでしょうか。

事務局 : 当初予算で米原小学校の空調設計業務を予算化していただいていますので、本年度は2校設計する予定です。大体3校ずつ整備していくという計画を立てており、今年度から設計させていただいて、来年度から工事に入るという計画で進めていきます。双葉体育館につきましても、社会教育施設ということで、合わせて体育館の空調整備を進めていきます。

教育長 : 全ての小中学校を順次進めていくということで、児童生徒数の多い学校からという計画をしているところです。

原案承認

議案第20号 後援等名義使用承認（後援）について 【生涯学習課】
○～海洋ゴミから作られた楽器だけで奏でるコンサート～
「海から楽器がやってきた！」

— 以下、議案に基づき説明 —

B委員 : 事業の内容にワークショップをして楽器作りとコンサートと両方書いてあるのですが、開催要項の方では1時半開場の2時開演で終演が3時半とかいてあるのでコンサートだけかなと思ったのですが、どうでしょうか。

事務局 : 開催要項にはコンサートの本番の日の概要が書かれていますが、この事業そのものについては、その前の夏休みの期間にワークショップを通じて調べものをして楽器作りも行うということです。

B委員 : ありがとうございます。YouTube で見たのですが、5人ぐらいのメンバーでペットボトル、空き缶、流木、釣竿や釣り糸など本当にその辺に落ちているようなゴミが、その方たちにとっては資源で、それを上手に工夫して音も調整されていて、素晴らしい楽器を作って演奏されていました。身近なものでそうやって作れるというのは素晴らしいなと思いました。

た。

教育長 : 公演前のワークショップを含めて後援をするということでよろしいですね。

事務局 : はい。

原案承認

議案第 21 号 米原市図書館協議会委員の任命について 【図 書 館】

(内容) 米原市図書館協議会委員を別紙のとおり任命したいので、米原市立図書館条例第 14 条の規定により、この案を提出するものです。

— 以下、議案に基づき説明 —

原案承認

議案第 22 号 米原市スポーツ推進委員の委嘱について 【スポーツ推進課】

(内容) 米原市スポーツ推進委員を別紙のとおり任命したいので、スポーツ基本法第 32 条第 1 項の規定により、この案を提出するものです。

— 以下、議案に基づき説明 —

原案承認

議案第 23 号 米原市立学校給食運営委員会委員の委嘱および任命について

【学校給食課】

(内容) 米原市立学校給食運営委員会委員を別紙のとおり委嘱、任命したいので、米原市付属機関設置条例第 4 条第 2 項の規定により、この案を提出するものです。

— 以下、議案に基づき説明 —

教育長 : 柏原中学校保護者代表という欄に名前が入っていませんが、これはどういうことでしょうか。

事務局 : 学校にも御連絡させていただいたのですが、柏原中学校は PTA がないということで、専任ができないとお断りをいただいたところです。

教育長 : 公募委員についても3枠ありますが、2人しか公募がなかったということでしょうか。

事務局 : そのとおりです。

教育長 : 上限はありますが、2人欠員で運営するということですね。PTAがなくなっている学校が出てきましたので、保護者代表という人選をするのに学校としても難しい状況があるので、今後どうしていくかということは検討課題だと思います。

原案承認

議案第24号 米原市学びあいステーション運営審議会委員の委嘱について

【生涯学習課】

(内容) 米原市学びあいステーション運営審議会委員を別紙のとおり委嘱したいので、米原市附属機関設置条例第4条第2項の規定により、この案を提出するものです。

— 以下、議案に基づき説明 —

原案承認

7 報告事項

(1) 米原市フリースクール利用児童生徒支援補助金交付要綱の一部改正について

【学校教育課】

A委員 : 多様な学びの場ということで、フリースクール等の選択肢があるというのはいいことだと思いますし、その保護者の負担を考えて補助金を出していただくことは素晴らしいと思っています。ところで、米原市には教育委員会が認めたフリースクールはいくつぐらいあって、何人ぐらいそこへ行っているのでしょうか。以前勤めていた市でもこういう補助金を出していたのですが、フリースクールの運営団体から運営自体に補助の要望がありましたが、米原市の見解を教えてください。

事務局 : 米原市にいくつぐらいあるかということですが、すいませんが本日は詳細がないです。人数については、学校教育課の資料の欠席状況のところに民間施設利用という欄があり、ここがフリースクールで、2人となっています。運営への直接の補助につきましては、去年まで議論してきた中では憲法違反であるという認識です。米原市としてはまず居場所の提供をするということで、みのりやステップ・フォワード・プログラム、そこにも行けなくて民間フリースクールに行っている子に対しては利用

補助を行っています。直接補助はできないですが、保護者にしっかり行き届くような支援をしています。

(2) 米原市人権教育推進員の委嘱について (追加報告分) 【生涯学習課】

(3) 米原市スポーツ振興員の委嘱について (追加報告分) 【スポーツ推進課】

(4) 後援等名義使用承認 (後援) について

○第20回米原市人権教育研究大会 【学校教育課】

○第4回ごみゼロ・カーボンゼロ研究コンクール 【学校教育課】

○第4回おとのかけはしコンサート 【生涯学習課】

○祥風会 (日本舞踊) 【生涯学習課】

A委員 : 米原市人権教育研究大会の共催の申請についてですが、私も人権教育に長く携わらせていただいたのですが、人権教育というと個別の人権課題を扱った授業だけが人権教育だと思っておられる方も多いと思います。教育長が着任式のときに子どもにとって最大の教育環境は教師だということにおっしゃりましたが、まさにそのとおりだなと思って聞かせていただきました。日々子どもたちに接する先生の子どもへの声かけや子どもを見る眼差、あるいは気持ちの受け止め方、こういったものは全て人権教育として子どもに影響を与えていくものだとは私はずっと思っていてやってきました。子どもはこの先生は自分の気持ちをわかってくれると感じるからこそ何でも相談できるし、自分らしさを発揮できると思います。そういう場でこそ米原市が目指す自尊感情を育むということができるのかなと思っています。そういう先生であるために、人権感覚というのは磨き続けなければならないと思っているのですが、この研究大会は、課題を抱えた子どもにいかに向き合ってきたかという実践交流の場なので、感性を磨く大切な研修だと思います。これは任意団体なので、米原市では加盟している人だけが参加するのかもしれませんが、教育委員会が共催ということなので、できるだけ全員参加の研修になってほしいと思いますので、よろしくお願いします。

教育長 : ありがとうございます。人権について学ぶ大事な機会と捉えています。前は後援だったと思いますが、どうでしたか。

事務局 : 後援から共催にいつからなったかは把握できていないです。また、日曜日開催というところでいつも議論になりまして、小中学校の先生方にできるだけたくさん参加してもらおうと思うのであれば平日開催だろうと思いますが、対象者には保護者や保育士もいます。保護者や保育士は平日がどうしても制限されるので、いろいろな立場の人が子どもたちの

課題を話し合っって自分たちの人権感覚を高めるためには、休みの日に開催の方が良いだろうというところを米原市の人権教育研究会は大事にしています。

A委員 : 共催ということは米原市教育委員会も主催の1人ということですよ
ね。

事務局 : そうです。

A委員 : 教育委員会から出席依頼があれば、会員の有無に関わらず、学校の先生は参加できるものだと思いますのでお伺いました。

事務局 : 会員数は学校によってまちまちです。この大会の意義を学校長は皆分かっていますし、連名で文書が出ていたとは思いますが、やはり日曜日なので、必ず参加まではなかなか難しいと思います。意義を説明してできるだけ行くようにという話は、校長からしていると認識しています。

8 質疑応答

9 その他

(1) 令和7年第6回定例教育委員会の開催について

日 時 : 令和7年6月25日(水) 午後3時30分から

場 所 : 米原市役所 コンベンションホール

(2) 令和7年第7回定例教育委員会の開催について

日 時 : 令和7年7月25日(金) 午後3時30分から

場 所 : 米原市役所 4A会議室

10 閉 会

以上をもって令和7年第5回定例教育委員会を午後4時53分に終了した。